

【ポイント】

内政

- ラカジェ・ポウ大統領の施政支持率に関する世論調査結果は、支持が46%、不支持が40%であった。
- 30日、大統領選挙党内選挙が行われ、与党国民党はデルガド元大統領府長官、野党拡大戦線(FA)はオルシ元カネロネス県知事が勝利した。

外交

- 15日～16日、パガニーニ外務大臣が、スイスで開催された「ウクライナの平和に関するサミット」に出席し、同サミットの共同声明に署名した。
- 26日、外務省は、ボリビアで発生したクーデター未遂を非難するコミュニケを発出した。

経済

- 4日、米格付会社フィッチ・レーティングス社は、ウルグアイの信用格付を「BBB」に据え置き、今後の見通しは安定的とする旨発表した。

【本文】

1 内政

(1)ラカジェ・ポウ大統領の施政支持率に関する世論調査結果

18日、世論調査会社 CIFRA 社は、ラカジェ・ポウ大統領の施政支持率に関する世論調査結果を発表(5月16日～29日にかけて全国1,501の有権者に対し実施、誤差±2.5%)、支持が46%、不支持が40%、どちらでもない／無回答が14%であった。

(2)大統領選挙党内選挙

30日、大統領選挙党内選挙が実施された。投票率は35.3%で、与党国民党はデルガド元大統領府長官(得票率74.43%)が、野党拡大戦線(FA)はオルシ元カネロネス県知事(得票率59.14%)が、与党コロラド党はアンドレス・オヘダ弁護士(得票率39.49%)が勝利した。

2 外交

(1)パガニーニ外務大臣のコスタリカ訪問

10日、パガニーニ外務大臣はコスタリカを訪問し、アンドレ同国外務大臣と会合を行った。両外相は、二国間関係についてレビューするとともに、両国が参加する「経済的繁栄のための米州・パートナーシップ」(APEP)を、両国の貿易関係を深める機会を提供するメカニズムである旨確認した。また、ウルグアイとコスタリカ間の航空サービス協定の署名が行われた。

(2)パガニーニ外務大臣の「ウクライナの平和に関するサミット」出席

15日～16日、パガニーニ外務大臣はウルグアイを代表し、スイスで開催された「ウクライナの平和に関するサミット」に出席した。同外相はプレナリー会合において、「このサミットの成果を支持し、国連憲章の原則に基づき、平和の側に立ち続ける。」と述べ、同サミットの共同声明に署名した。

(3)ボリビアにおけるクーデター未遂の非難声明

26日、外務省は、「ウルグアイは、ボリビアで発生した民主的・制度的不安定化の企てを強く非難し、同国で合法的に確立された憲法秩序を尊重するよう訴える。」として、ボリビアで発生したクーデター未遂を非難するコミュニケを発出した。

3 経済

(1)ウルグアイの信用格付「BBB」に据え置き

4日、米格付会社フィッチ・レーティングスは、ウルグアイの現地通貨建て及び長期発行体格付を「BBB」に据え置き、今後の見通しは安定的とする旨発表した。4日に同社が発出したプレスリリースによれば、ウルグアイの格付は、比較的高い一人当たりGDP、強固なガバナンス指標、健全な対外金融に基づくものである。

(2)今年第1四半期の経済成長率

14日、中銀は、当国の今年第1四半期の経済成長率は0.9%であった旨発表した。今回の経済成長の主な要因は、エネルギー及び林業セクターの改善によるものである。

4 要人往来

- ・10日：パガニーニ外務大臣のコスタリカ訪問(アンドレ同国外務大臣との会合)
- ・15日～16日：パガニーニ外務大臣のスイス訪問(「ウクライナの平和に関するサミット」)
- ・18日：ラカジェ・ポウ大統領のチリ訪問(故ピニエラ元同国大統領の追悼式)
- ・30日：マツス農牧水産大臣の中国訪問(第3回中国・CELAC農業大臣フォーラム)